# 2015 年度 保護者満足度調査 結果と質問等への回答

聖隷クリストファー大学 後援会

# 2015 年度保護者満足度調査結果 結果報告

# [実施時期]

2015年12月下旬 ~ 2016年1月17日締切 〔〆切を1月24日(日)まで締切延長〕

# [実施方法]

当該調査の調査票のみを全保護者宛てに郵送。

アンケートの回答方法は返信用封筒による郵送、自宅学生によるアンケートの持参もしくは携帯電話やパソコン・スマートフォンからのインターネットでの回答。

# [調査対象]

全学部学科1~4年次生の保護者 計1,399名

# [回収率(全体)]

全体	1年次	2年次	3 年次	4 年次	学年不明	合計
回答数	215	180	152	149	0	696
回収率	61. 43%	50.70%	44.84%	41. 97%	_	49. 75%

# 過去の回収数および回収率

全体	1年次	2 年次	3 年次	4年次	学年不明	合計
2014年度	157 (43.9%)	103 (30.3%)	113 (32.4%)	82 (23.2%)	2 ( — )	457 (32.6%)
2013 年度	135 (39.5%)	112 (32.3%)	107 (31.5%)	83 (23.8%)	5 ( — )	442 (32.1%)
2012 年度	158 (45.0%)	107 (31.2%)	82 (24.5%)	76 (23.2%)	2 ( — )	425 (31.3%)

## [回収率 (学部(学科)別)]

看護	1年次	2 年次	3 年次	4 年次	学年不明	合計	
回答数	91	63	62	63	0	279	
回収率	56. 88%	40. 91%	41.06%	39. 13%	_	44. 57%	
社福	1年次	2年次	3年次	4年次	学年不明	合計	
回答数	17	17	16	11	0	61	
回収率	54.84%	43. 59%	44.44%	26.83%	_	41.50%	
介護	1年次	2 年次	3年次	4年次	学年不明	合計	
回答数	8	9	5	3	0	25	
回収率	66. 67%	52.94%	35.71%	23.08%	_	44. 64%	
		,					
こども	1年次	2年次	3年次	4年次	学年不明	合計	
回答数	22	34	22	14	0	92	
回収率	56. 41%	72. 34%	46.81%	40.00%	_	54. 76%	
理学療法	1年次	2年次	3年次	4年次	学年不明	合計	
回答数	27	26	12	23	0	88	
回収率	69. 23%	61. 90%	36. 36%	58. 97%	_	57. 52%	
作業療法	1年次	2年次	3年次	4年次	学年不明	合計	
回答数	23	22	22	21	0	88	
回収率	65. 71%	59. 46%	62.86%	61.76%	_	62. 41%	
言語聴覚	1年次	2年次	3年次	4年次	学年不明	合計	
回答数	27	9	13	14	0	63	
回収率	79. 41%	47. 37%	56. 52%	43.75%	_	58. 33%	

インターネットによる回答は 129 件

# [結果の概要]

設問項目ごとに「大変満足している」「やや満足している」の合計を算出し、その値を満足度指数とした場合、「大学に対する総合評価」は 91.5% と高い評価をいただきました。

しかし、項目別では必ずしも評価の高い項目ばかりではないため、満足度が高くない項目については今後の対応(改善策)について検討しています。

また、自由記述としてお寄せいただきましたご意見・ご要望に個々に回答できませんが、[質問・要望に対する回答]として13ページ以降に回答させていただいておりますのでご覧ください。

なお、回答率は 49.75%、回収件数は 696 件といずれも調査を開始した 2007 年度以来最多の回答をいた だくことができました。

お忙しいところご協力いただきまして有り難うございました。

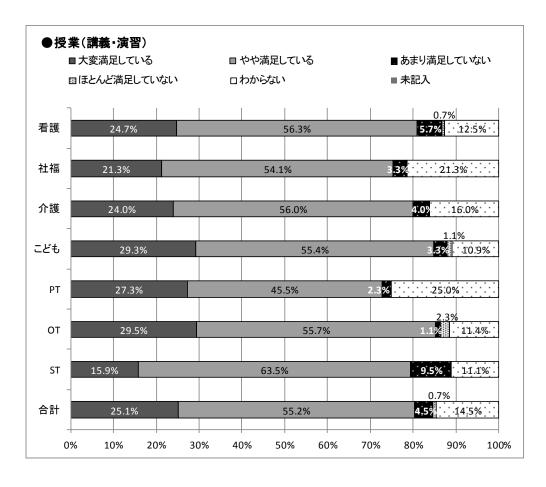
2016 年度も引き続き実施をいたしますので、より良い大学づくりのため、今後も保護者の皆様の忌憚のないご意見を是非お寄せくださいますようご協力をお願いいたします。

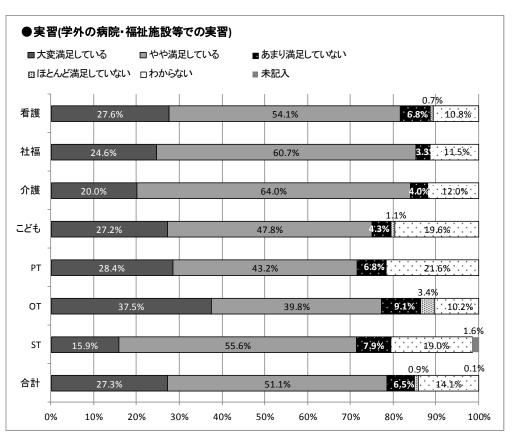
# 2012 年度~2015 年度「保護者満足度調査」各項目の推移

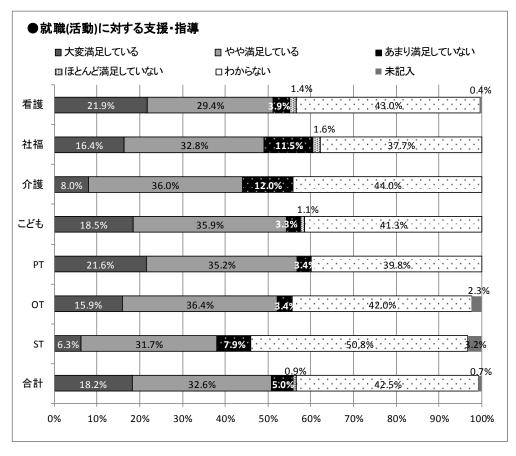
A=満足(大変満足している、やや満足している) B=不満足(あまり満足していない、ほとんど満足していない) C=不明(わからない、未記入)

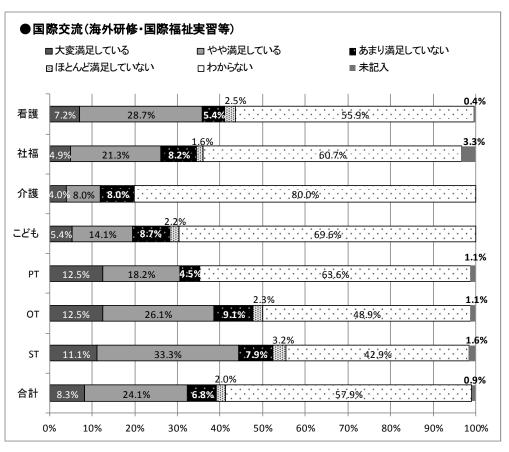
	設問	2012年度		0014年 亩	9015年帝
3			2013年度	2014年度	2015年度
		424人 義・演習)	440人	457人	696人
A	<u>1)                                    </u>	73.8%	77.7%	78.6%	80.3%
В	不満足	7.8%	4.1%	5.9%	5. 2%
C	不明	•	18. 2%	15. 5%	
		18.4% 外の病院・福祉			14. 5%
$\overline{}$	<u>2) 天 自 (子)</u> - 満足	76.7%	79.5%	77.0%	70 40/
A B	不満足		**************************************		78.4%
C	不明不明	6. 1% 17. 2%	5. 7% 14. 8%	5.5%	7.3%
				17. 5%	14.2%
A	満足	朝) (C M 9 る 文 47. 2%	49.8%	10 10/	50. 9%
В	不満足	8.0%	9.3%	48.4% 6.1%	
C	不明	44.8%	40.7%	45. 5%	
			************************************	<u>45.5%</u> )に対する支	
A	満足	29.5%	30.7%	32.2%	32.5%
B	不満足	9.0%	8.0%	7.7%	8.8%
C	不明不明	61.6%	8.0% 61.4%	60. 2%	
_				00.2%	ე ებ. ბ%
	<u> 満足</u>	最低に関する文 61.3%	64.8%	64. 8%	65. 2%
A B	不満足	8.5%	10. 2%	10.5%	
C		30. 2%	25. 0%	24. 7%	
		<u> 30.2%</u> 獲者からの相談	25.0%	24. 1%	21.0%
A	<u> </u>	59.7%	64.8%	64.1%	64.8%
В	- 個足 - 不満足	8.3%	7.7%	8.8%	7.5%
C	不明	32. 1%	27. 5%	27.1%	27. 7%
	- <u>/ ト ワ J</u> 7) 奨学金・ 🤇			学生生活に関	<u> </u>
A	<u>/) 吳子亚-/</u> 満足	55. 9%	58.9%	60.0%	54. 9%
B			10.0%	8.3%	•
C	不明	10. 4% 33. 7%	31.1%	31.7%	10. 2% 34. 9%
		<ul><li>・防犯への対応</li></ul>		31.7%	34.9%
A	<u>新聞的正</u> 満足	56. 4%	58.0%	61.1%	53. 6%
В	- 個足 - 不満足	10.6%	13.9%	10.7%	
C	不明	33.0%	28. 2%	28. 2%	34.3%
		生への接し方	20.2/0	20.2/0	34. 3/0
A	<u>が良いす。</u> 満足	69.8%	70.0%	72.4%	76. 4%
В		10.4%		7. 9%	
C	不明	19.8%	9. 8% 20. 0%	19. 7%	17. 4%
	0) 事務職員(			13.1/0	11.4/0
A	満足	56.4%	63.0%	62.8%	57. 2%
B	不満足	8.3%	8. 2%	8.8%	11. 5%
C	不明	35. 4%	28. 9%	28.4%	31. 3%
(1	1) 本学の施記		20. J/0	20.4/0	31.3/0
A	<u>1) 本于いた</u> 満足	81.4%	82.0%	83.6%	82.8%
В	不満足	12. 7%	10. 2%	9.4%	9. 5%
C	不明	5. 9%	7. 7%	7.0%	7.8%
			(進学させてよ		
A	満足	90.3%	92.0%	91. 9%	91.5%
B	不満足	3. 1%	4. 1%	4.4%	3.3%
C	不明	6.6%	3. 9%	3.7%	5. 2%
-		して知りたい情			
A	満足	70.0%	78.0%	74.0%	
B	不満足	17. 9%	15. 9%	17.9%	14. 8%
C	不明	12.0%	6. 1%	8.1%	10. 9%
$\circ$	1.01	14.0%	0.1%	0.1%	10.9%

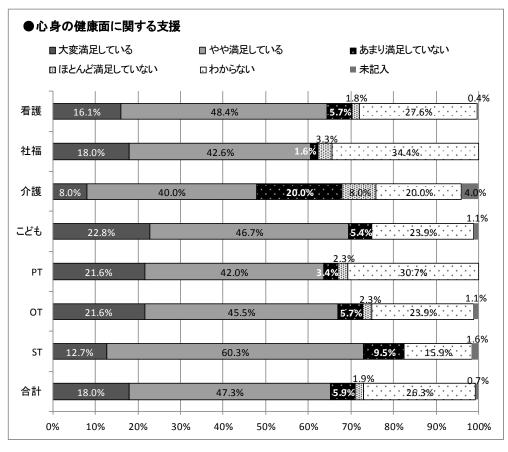
問. 大学の教育や学生生活等の支援について保護者として満足していますか。

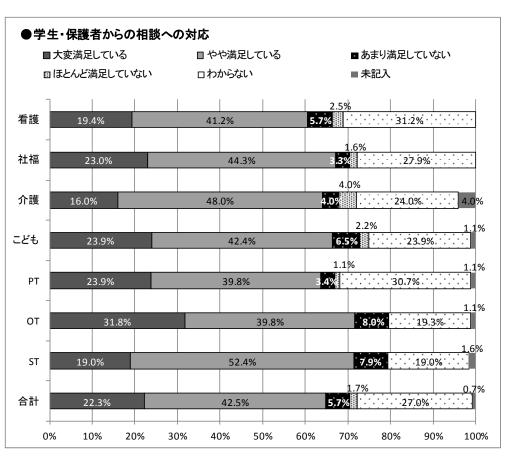


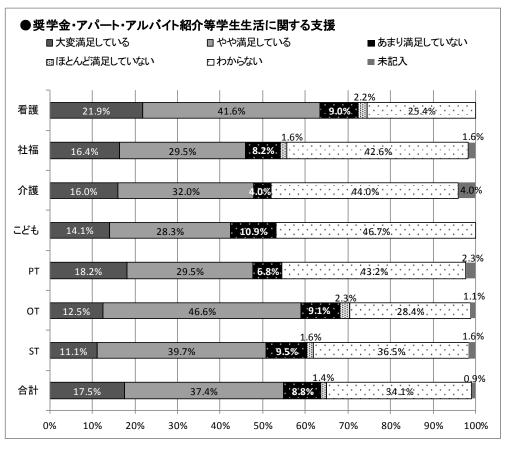


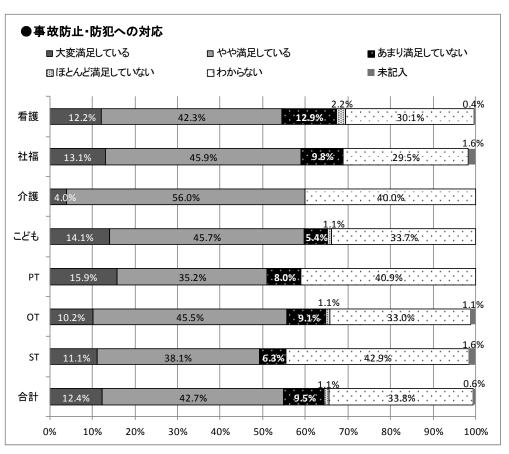


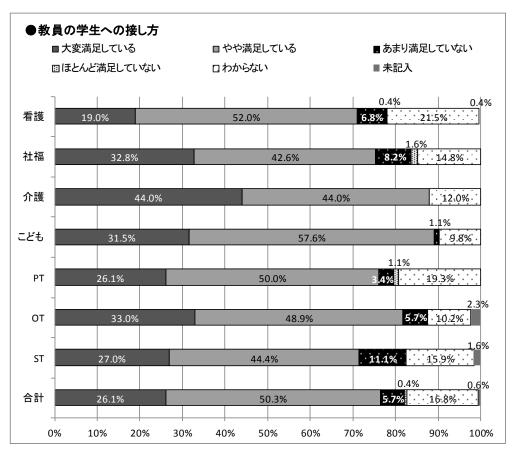


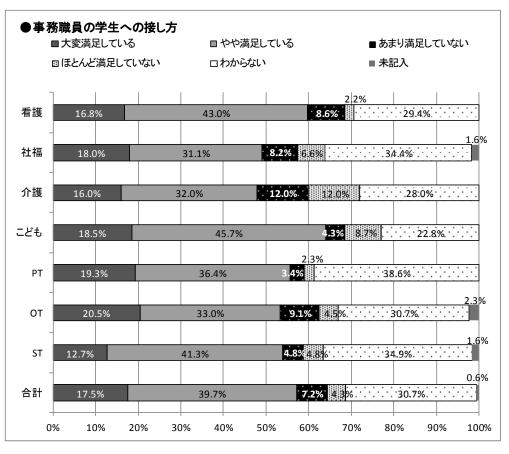


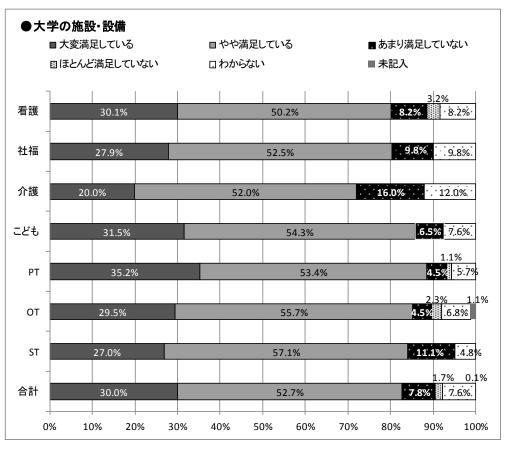


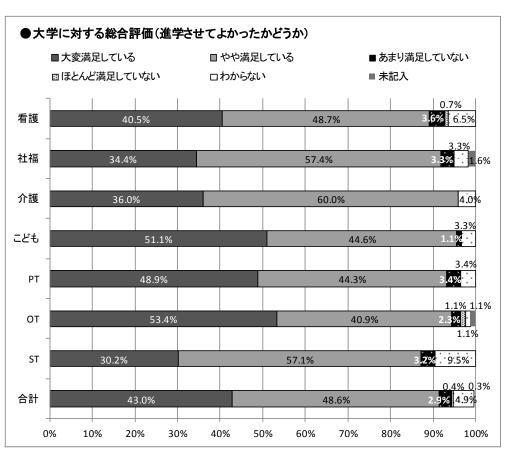


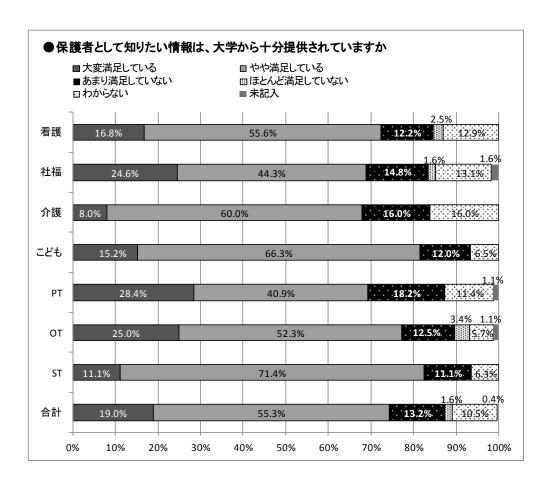




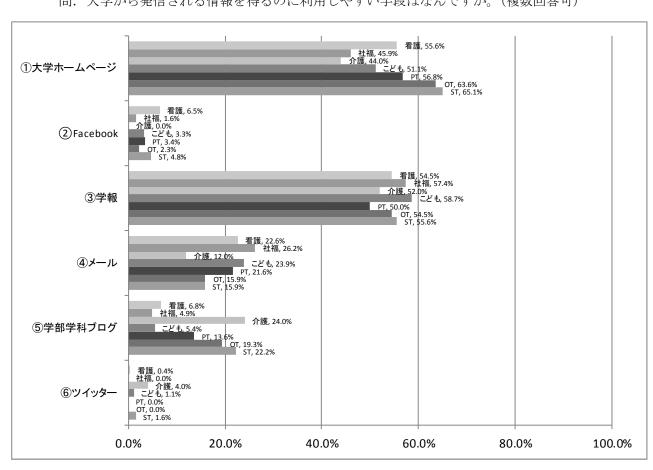




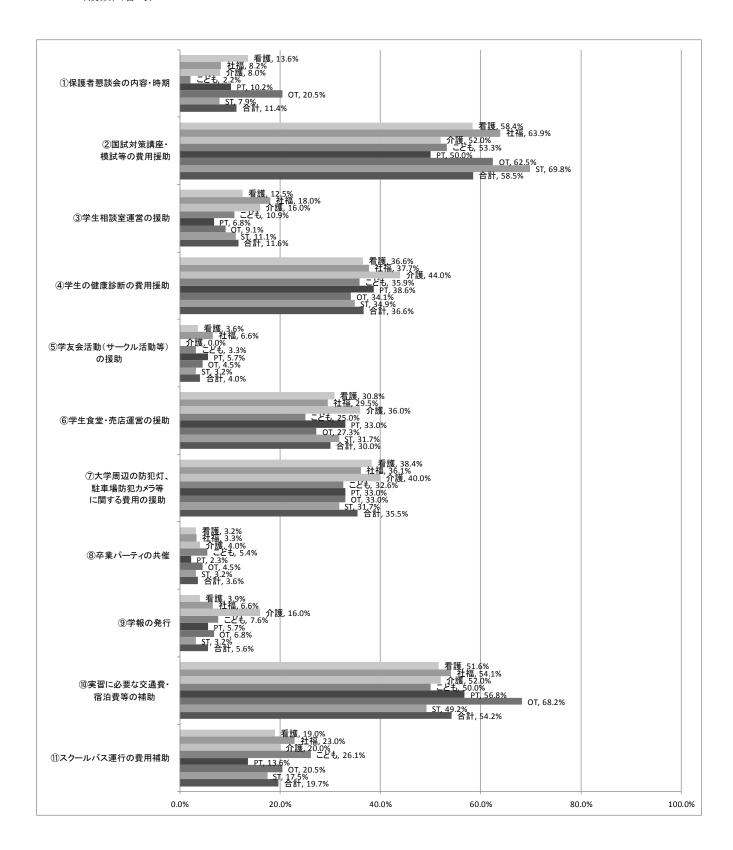




問. 大学から発信される情報を得るのに利用しやすい手段はなんですか。(複数回答可)



問. 本学後援会では下記の事業を行っています(行う予定でいます)が、より充実させてほしいことは何ですか。 (複数回答可)



# 2015 年度保護者満足度調査自由記述と質問への回答

2015年度保護者満足度調査に多くのご質問・ご要望をお寄せいただきまして、誠にありがとうございました。お寄せいただきましたご意見・ご要望に個々に回答できませんが、[質問・要望に対する回答]として次ページ以降に回答させていただきます。

また、自由記述に本学の教育に対して好意的なコメントもいただきましたので一部ですが下記にご紹介いたします。

今後もよりよい教育を目指して取り組んでまいりますので、引き続きご支援、ご協力くださいますよう お願い申し上げます。

# [自由記述の一部の紹介] ※学年は2015年度時点

- ・クリストファーは高校からの勧めもありました。家族で見学に行った日、学生が色々学内のことを教えてくれました。環境が良くキャンパスも落ち着きのある素敵な外観でした。入学してから息子は色々なことを意欲的に始めました。良い友人にも恵まれました。今までに無いほど学習しています。「この大学で4年間学ばせてくれてありがとう」の言葉が親として何よりの喜びでした。〔看護学部/4年次生〕
- ・聖隷グループの病院でアルバイトをさせてもらっています。実践面に触れることで学習の意欲にもつながり、実習や実技の習得にも良い影響があるように思います。〔看護学部/3 年次生〕
- ・熱意を持ち指導くださる先生方、切磋琢磨出来る仲間に恵まれ、充実して楽しい大学生活を送っていることが、娘の言動を通して伝わってきます。感謝しております。 [看護学部/2 年次生]
- ・奨学金制度も整っていて、国際交流制度など学生が安心して通え、そして将来のビジョンも見やすく、 昨今のグローバル化にしっかりと対応してくださり、感謝しております。上記含め、通わせて良かった!この大学の卒業生で良かった!と思える大学だと思っております。 [看護学部/2 年次生]
- ・事務職員の方の対応は学生だけでなく保護者に対してもとても丁寧で、親元を離れ、一人暮らしをさせている親にとってとても安心します。 [看護学部/1 年次生]
- ・学科担当の先生方には、大変お世話になり感謝しております。目標を見つけ努力し、頑張っている子どもの姿を見て、途中であきらめなくて良かったと心から思います。ありがとうございました。〔社会福祉学部社会福祉学科/4年次生〕
- ・先生はじめ、事務職員の方もいつも不安な子どもからの質問に、親切、丁寧に対応して頂いている話を聞きます。特に先生には本当に家族のような温かい心で接して頂けているとの事で、心より感謝しております。クリストファー大学に入って良かったと本人の口からもよく聞きます。〔社会福祉学部社会福祉学科/3年次生〕
- ・就職支援の充実は素晴らしいと思います。指導も先生に聞きに行った時、色々アドバイスをもらえたので助かりました。〔社会福祉学部こども教育福祉学科/2年次生〕
- ・実際に現場に行き、施設の方々やスタッフさんと直に触れ合えることができること、その施設が学校周辺にあるのはクリストファーの強みです。〔社会福祉学部社会福祉学科/1 年次生〕
- ・子どもが「聖隷に入って良かった」と言ってくれます。本人は先生方を信頼しているのだなと話をしていて感じます。学生生活も楽しく充実しているようです。親も安心しています。これからもご指導よろしくお願いします。〔社会福祉学部介護福祉学科/1年次生〕
- ・少人数ならではの指導のきめ細かさを、保護者会で知ることができました。まだ1年生ということで、親子共々わからないことが多いですが、クラスやサークルを通じて友達がたくさんでき、楽しく過ごしている様子を見ていると、こちらに進学させて良かったと思います。 [社会福祉学部こども教育福祉学科/1年次生]
- ・思うように就職先が決まらず、少し焦ったり悩んだりしていたのですが、先生方にご指導いただき、希望の病院に合格でき、とても感謝しております。国家試験に向けても色々な対策をして頂いているようです。あとは本人の努力次第ですがこちらの大学で学べて本当に良かったです。ありがとうございました。「リハビリテーション学部理学療法学科/4年次生」
- ・学生に対し、学習・心身面で事細かなご指導をして頂き有難うございます。精神面でとても辛い時、常

に相談に対応して頂いて、本人もとても心強かったことと思います。とても感謝しております。 [リハビリテーション学部言語聴覚学科/4 年次生]

- ・聖隷で学ばせていただいている事、保護者として感謝しています。これからも、ご指導よろしくお願い致します。 [リハビリテーション学部理学療法学科/3 年次生]
- ・充実した学生生活を送っている様で大変満足しています。熱心な指導を受けられた事が、これから社会に出てからきっと支えになっていくことと思います。これからも宜しくお願いします。 [リハビリテーション学部言語聴覚学科/3 年次生]
- ・授業が具体的で実践に基づいているとお聞きしました。グループワークは主体性の向上にはとても良いと思います。 [リハビリテーション学部理学療法学科/2 年次生]
- ・大学や後援会のおかげで、家から出て大学に通う子どもの様子が手に取るように分かります。同じく県外に出て一人暮らしをしている兄弟はなかなか生活の様子を把握するのが難しいのに比べて、随分親としても安心しております。〔リハビリテーション学部作業療法学科/1年次生〕
- ・先生方の学生への接し方がとても良いと思います。授業で分からなくても後で理解できるまで対応していただけているということを聞きとても感謝しております。 [リハビリテーション学部言語聴覚学科/1年次生]
- ・はじめての実習体験において、実習のみでなく実習前後の指導者への連絡や御礼など、社会人基礎力という面での指導に大変感謝しています。実習体験を通して、医療者としての心構えや社会人としての接遇をご指導して頂いている様子で安心しております。 [リハビリテーション学部作業療法学科/1年次生]

# [質問・要望に対する回答]

## (1) 教育

#### 【看護学部】

- 1) 授業(講義・演習)
- (質問) 【私語】授業中、ごく一部で私語が多くて回りの学生に迷惑をかけている。
- (回答) 授業中の私語への対応は、大学全体として、また看護学部として継続して取り組んできているところです。私語厳禁については授業前にルールとして説明して抑止し、他者に迷惑のかかるような授業態度の学生に対しては、しかるべき注意を促すことを教員間の共通認識として取り組みます。
- (質問) 【看護技術試験の日程】技術試験の日程を学年でずらすことは難しいでしょうか
- (回答) 学年別に学生が十分なセルフトレーニングを実施できる期間を設定し、試験日を決定しております。今後は、さらに計画的にセルフトレーニングを実施できるように指導を行います。
- (質問) 【看護技術指導1】定期試験、実技についてですが、不合格をもらったのですが、どこがどう不足しているか部分なのか?納得のいく説明なり技術のお手本を示していただけたら・・・と思います。あまりにくだらない理由で不合格してほしくありません。
- (回答) 技術試験終了後にフィードバック期間を設定して、注意すべき点や不足していた点などを指導して おります。再試験に向けてのセルフトレーニングにおいても教員が指導を行っています。今後は、学 生から主体的に疑問などを確認できるように指導を行います。
- (質問) 【看護技術指導2】技術試験の合否に差があったり、指導を様々です。実際の現場で活かせる技術を身につける指導をお願いしたいと思います。
- (回答) 試験の合否については、試験に関わる教員で試験前・中・後に打ち合わせを行い、基準を統一して、結果を決定しています。また、技術試験終了後にフィードバック期間を設定して、注意すべき点や不足していた点などを指導しております。教授する技術項目は、基礎教育課程で必要とされる内容を選定しています。教授の際には、エビデンスおよび現在の臨床のスタンダードモデルを加え、教授しています。今後は、学生の個別に沿った事後学修ができるように指導体制を整えます。

- (質問) 【単位取得】必須単位が取得できなかったために半年遅れの卒業となった。
- (回答) 入学の時点から看護学部での学びについて説明し、必修科目の重要性をより強調していきます。 また、アドバイザーからも、学習のしかた、科目内容の理解、成績などについて話す機会を増やし ていきます。
- (質問) 【英語教員】外国人の英語の先生は日本人のわかりづらいところ、すでに習って知っているところを理解してないことがあり、日本人の英語教師によるフォローが必要ではないかと思う。
- (回答) 外国人教員の授業では、様々な場面で学生が戸惑うことがあるかもしれませんが、コミュニケーション上の課題解決も含めて、できるだけ英語でチャレンジできるように学生支援を行っております。本年度からは外国人の英語の教員が 2 名になりました。両名ともに日常的な会話は日本語で行うことが可能ですので、分からないことがあれば、気軽に質問してもらいたいと思います。もちろん日本人教員は外国人教員と連携を取っておりますので、今後もご相談いただければ対応していきたいと思います。
- (質問) 【保健師課程1】保健師課程で内輪のみでの指導や集会を教員が行っているのは不公平である。
- (回答) ご質問は、卒業後直ぐに保健師として就職を希望している学生が行っている自主的な学習会の事ではないかと思います。この会は教員が開催しているものではなく、学生主体でおこなわれているもので、先輩から引き継がれ就職先を考え始める時期に、希望する市町村の情報交換等、学生同士で話し合い、就職活動や面接試験に備えることを目的に始まった活動です。就職などに関するアドバイスを求められた時に、教員は参加をしています。保健師の就職活動は難しく、募集人数も少ないところに他大学の学生と競って就職の内定を得なくてはいけません。就職試験は、筆記試験及び面接試験など、3次試験まで課せられる市町村が多く、学生は試験に伴うストレスや不安感がとても大きい現状があります。このような学生を、精神的に支え対応していく必要性を感じております。

また、教員が主催する「卒業生保健師の集い」に、学生のボランティアを募集したことがありますが、募集は全体への呼びかけのもと、希望した学生が10名程度参加しています。

- (質問) 【保健師課程2】実習先がとても遠く、その実習先で下宿をしなければいけなくなった。事前にアンケート等をとってほしい。保健所実習の通勤距離が遠い。下宿生は、全員自宅へ帰らせて、自宅からの実習にできないのか?
- (回答) 公衆衛生看護学実習(選択)は、4週間という長い期間の実習です。負担が大きい面もありますが、実習を通して支援技術の向上は目覚ましく、お互いに助け合い大きく成長していきます。

実習場は市町村や保健所の実習が中心となり、大学からの距離は必ずしも公平ではない状況となっています。県内の他大学との調整もあり、人数や地域等の制限が加わっています。そのため、浜松市のみの実習地では限界があり、静岡県内の西部地域・中部地域の市町村に実習場が広がります。どの実習場も学ぶ環境としては高い質を保っていますが、通学できない場合は宿泊も伴います。可能な限り経済的な負担の公平を目指して、事前アンケートを行い、全員は無理ですが、下宿生は実家から通えるようにしています。さらに実習の履修者より一定額の実習交通費を集めさせていただき、宿泊者の宿泊代等や高額になる交通費への一部補てんをしています。

# 2) 臨地実習

- (質問) 実習中に携帯を持参した学生がいた。
- (回答) 授業や実習でのマナーについても指導していきます。実習は、グループでの学習の機会でもありますので、実習を通じてマナーととともに、リーダーシップやメンバーシップ等、集団の中での行動にしかたや学びの機会にもしていきたいと思います。学生同士の個人的な人間関係にも目を向けていきたいと思います。
- (質問) 意味もなく厳しいだけの病棟があった。先輩ナースの目などストレスが溜まっている。
- (回答) 臨地の現場では、患者さんの命や生活を守るために正確な知識や厳密な看護技術や求められることが多いため学生に対する指摘も厳しくなる場合があると思われます。学生には、なぜそのような指摘をするのかが伝わるような説明や表現を心がけていく必要があると思います。臨床教授制度の強みを活かして大学と臨地のスタッフが協調して学生指導にあたれるよう話し合いを通じて相互理解を深め、実習指導の質を向上させていきたいと思います。
- (質問) 教員が一番のストレスになっている。
- (回答) 学生と相互に理解を深めながら実習指導にあたれるよう学生を尊重する基本姿勢を貫いていきたい

と思います。教員の指摘事項が学生にうまく伝わっていないことも一因かと思われますので、よりいっそう丁寧な説明を加えながらの実習指導を心がけていきたいと思います。学生が実習終了時に、 実習での学びを実感できるよう支援していきます。また、同じ領域の他の教員に相談してみるのも良いかもしれません。

## (質問) 精神的にも看護学部は大変だと思うので、先生方からもフォローをお願いしたい。

(回答) 講義や実習等のスケジュールが過密だったり、対人関係を築くために精神的に大変だと感じる学生さんもいると思います。教員は日々の学生さん達の様子をみて、健康に毎日を過ごせるように応援していきたいと考えています。しかし教員だけでは、手が行き届かないこともありますので、是非ご家族の皆様にも温かいサポートをお願いできればと思います。もしお子様のご家庭での様子をみて何かお気づきのことがありましたら、遠慮なく大学にご相談ください。ご家族の皆様と共に学生さんの悩み事にタイムリーに対応できるようアドバイザー教員や学生サービスセンター等も協力してサポートできるよう心がけていきたいと思います。

# (質問) 実習で遠方に行く場合、他人を同乗したりすることは親としてとても心配です。交通の便が不自由な 現場へ行くときは、何か対策はありませんか?

(回答) 在宅看護学の実習では、あらかじめ移動調査を行い、学生の居住地・交通手段等を確認しています。公共交通機関を利用して移動可能な実習施設に学生を配置していますが、私有車を所持している学生の好意で、公共交通機関を利用して移動する学生を同乗させている場合もありました。運転に負担を感じながらの同乗になっていないか、運転学生に個別に確認しながら、言い出せない状況があれば、教員が関わり共に対応を考えていきたいと思います。移動による安全性の確保については、さらに指導をしていきます。

#### 3) 教員

- (質問) 教員によって実習で得る内容が異なる。同じ実習であるのに教員の指導が異なり得られる知識の量に 差がある。
- (回答) 実習では、病棟の特徴や患者さんの状況によって学習内容や指摘内容が異なることがよくあります。現場の状況に応じた指導について学生の理解を得られるように丁寧に説明していきます。また、教えて欲しいこと、やりたいことがある場合には、学生の側からも積極的に教員に発信してもらえるような雰囲気づくりも工夫したいと思います。

## (質問) えこひいき。学生への対応が非常に熱心な教員と適当に対応する教員がいる。

(回答) 学生への平等な対応、学生の学びを保証する教育活動について今一度各自で振り返りながら自分たちの日々の教育を見直す機会を持ちたいとおもいます。アドバイザーは2名で担当する制度があり、各科目は領域の教員全員が協働して教えることでもあります。その他の教員に相談してみることも解決策につながる可能性があります。

## 4) 国試対策

#### (質問) 国試対策で外部講師を呼び費用がかかるなら、それが不要になるような授業をしてほしい。

(回答) 本学部では学内教員による無料の勉強会を 15 回程度、無料の模擬試験を 10 回程度行い、また学生 ごとに担当教員を決めて個別指導を行うなど多様な国家試験対策を実施しています。外部講師の講座 はあくまでもより勉強したい学生のために、学校外で個人で受講すると高額な講座を、大学の教室を 使用することで安く受講できるように便宜を図っているものです。受講の強制はしていません。外部 講師の講義を受けなくても学生は国試に合格しておりますので、ご理解いただきたいと思います。

# 5) 就職対策

- (質問) ・聖隷グループへの就職ではない場合でも、他病院の就職情報はしっかりほしい。
  - ・本学の就職に対する考えをもう少し詳しく知る方法はないでしょうか。
- (回答) 看護学部の就職支援に対する考え方は、2 年~4 年次のガイダンスで学生にも伝えていますが、本人が希望するところへ就職出来るように、支援することです。

具体的な支援として、学生自身の希望を見極めるために、3年次の11月には、就職活動を終えた4年生の協力を得て、どのようにして志望先を決めたかなど、就職活動や就職試験についての報告会があり、発表事例の他にも先輩が残してくれている病院についての資料を閲覧することが出来ます。2月にはさまざまな病棟で働いている卒業生との懇談会を開催し、話を聞く機会を作っており、3、4年次の4月には、静岡県および愛知県にある病院説明会も本学で開催しています。また、学生には休み

を利用して、病院のインターンシップにぜひ参加するように勧めています。病院や施設の資料は、スチューデントプラザの就職コーナーに置いてあります。特に耳寄りな情報については、当該学年の学生にはメールで配信しています。その他、卒業生にメールで相談できる病院もあります。それでも不足している情報は、「就職ガイドブック」の資料請求の手紙やメールの書き方や留意点を参考に、病院に直接問い合わせてみるのも、自己アピールの 1 つだと学生には勧めています。就職センターの職員や教員に気軽に相談するように声をかけて下さい。

- (質問) 【保健師課程】保健師の国家試験に向けての指導がなく不安でたまらないと言っています。ご指導をお願いします。
- (回答) 保健師課程は選択制となり授業・演習時間が増加し、保健師の国試対策の時間の確保が難しくなっています。改善策として、3 年生から概ね月1回のペースで勉強会を行っています。教員の作成したオリジナルのワークブックを活用し、1年間をかけて課題に取り組みます。4 年生では、勉強会、模試の実施、個別支援と、学生個人の学習進度やモチベーションを考慮しながら指導を行っています。2015年度の新保健師課程履修者の保健師国家試験の合格率は100%でした。

その一方でご意見のように、「自分の学習方法で良いのか不安、もっと対策をやってほしい」と訴える学生もいます。本当に学習が不十分な学生については、個別で面談を設定し学習方法の指導をしています。しかし、「対策がほしい」と不安を訴える学生の多くは、成績上は何ら問題がないことが多い状況です。これは、保健師・看護師のダブルライセンスを取得することの厳しさを表していると考えています。このことが、今回のようなご意見につながるのではないかと思われます。保健師・看護師免許のダブル取得にあたっては、重圧が学生にかかっているということを十分考慮し、今後一層、学生が相談ができるような雰囲気の醸成や、きめ細やかな支援の継続を心がけたいと思います。

#### 6) 海外研修

(質問) 募集人数が少ない様で、希望してもいけないと聞きました。

現地での施設見学など受け入れ先の事情もあり、参加人数はどうしても制限があります。希望がかなわなかった場合でも、他の研修への参加を検討していただきたいと思います。

- (質問) 懇談会時、個別に教員、事務の方から海外研修について説明をいただきましたが、そう簡単な道のりではないことに気づかされました。もちろん、子どものモチベーションもありますが、もう少し広い門にしていただけないか…せっかくの大学4年間、残念でなりません。
- (回答) 海外研修は単位認定にも関わりますので、面接による選考や事前研修、帰国後のレポート提出が必要になります。また一方で、学内でも国際交流の機会があります。例えば、研修の受け入れ時の交流会やホームステイ、英会話に関わるイベントなどです。まずは学内イベントに参加し、モチベーションを高めていただくことも海外研修参加へのステップに繋がると思います。

#### 【社会福祉学部】

## ●社会福祉学科

- 1)授業(講義・演習)
- (質問) 4年生になってから実習と卒論と国試勉強が重なって大変。科目の配分を何とかできないか。
- (回答) 社会福祉士と精神保健福祉士の国家試験受験資格取得のための教科は、段階を踏んで学べるよう配置しています。したがって 4 年次に実習、卒業研究、就職活動、国家試験が重り、忙しくなることは事実です。精神保健福祉士取得を目指す学生には、卒業研究を早めに取り組み、早めに仕上げるよう指導するようにしています。

ただ、4 年生が忙しくて苦労する分、学びが定着し、両資格の取得を目指す学生の国家試験合格率は大変高い、というメリットもあるかと思います。

- (質問) 授業中の私語が多いようである。
- (回答) 授業の初めに受講マナーを伝え、私語があった場合、その都度注意するようにいたします。同時に 学生が集中し、主体的な学修ができるような授業改善を行います。

## 2) 臨地実習

- (質問) 自宅からの交通の便、所要時間への考慮をしてほしい。
- (回答) ソーシャルワーク実習の場合、実習先の種別によっては設置箇所数が少なく、その分、通うのに時間がかかることがあります。このことについては、学生に対して十分な説明を行い、納得していただ

いた上で配属を決定しています。

また精神保健福祉士の実習は、医療機関での実習が必須になっているため、配属先に限りがあり、通うのに時間がかかる場合があります。また、実習先によっては、利用者擁護の立場から、同一地区出身者への制限がかかる場合があります。いずれにいたしましても、事前に実習先と学生のマッチングには十分配慮し、合意のもと実施していくように努めます。

## 3) 教員

(質問) 先生によりいろいろですが、対応に不満を漏らすことがある。

教職員の対応について、曖昧な対応が多く満足のいく答えがもらえないことがほとんどである。

(回答) できる限り、教員による対応がバラバラで曖昧にならないよう、学科会議などで意思統一するよう にいたします。

## ●介護福祉学科

#### 1) 授業 (講義・演習)

(質問) 単位を落としている科目があるので、個別対応して欲しい。

(回答) 通常の年度当初の履修に関するガイダンスに加え、アドバイザー、教務委員により、履修指導計画 を個別対応を行っております。前年度に単位を落としている学生に対しては、教員も十分に留意して おりますが、履修登録に不安がある場合は、遠慮なく教員にお申し出ください。保護者様あてに成績 通知をさせて頂いておりますのでご参考にして頂けると幸いです。

## 2) 臨地実習

(質問) 実習先が遠く、負担が大きい。

(回答) 実習配属に関しては、本人の希望も考慮しているものの、実習施設が限られていることもあり、諸 条件を考慮して決めさせていただいております。前回の実習地等も考慮し、極力学生の負担が大きく ならないなどの配慮や、実習先開拓も積極的に行うなど具体的な対応に努めてまいります。

#### 3) 教員

(質問) 相手があることで教員に相談した場合には、双方の意見を聞いてから対応してほしい。

(回答) アドバイザーをはじめ、学科教員全員が、学生からの相談に対応するようにしております。友人関係の相談の場合は、本人の許可をとった上で、双方の話をきくなど、出来る限り時間を掛けて、丁寧に対応しております。また、学生相談室の利用を勧める場合もあります。このように、日頃から細心の注意を払って学生対応をしておりますが、今後もさらにきめ細やかな対応を心掛けて行きたいと思います。

#### ●こども教育福祉学科

## 1) 臨地実習

(質問) 実習へ行くときの交通手段—交通費がかなりかかる。

(回答) 実習における交通費については、学生の負担になっております。これまでも実習の配属については、学生の希望をできるだけかなえるようにしてきましたが、これからはそれに加え、交通費についても、学生や保護者の方に丁寧に説明ができるような資料を事前に配布するにより、交通費も加味して実習先を希望できるようにいたします。

#### 2) 就職

(質問) 学報で就職状況が載っていました。こども教育福祉学科の就職率が 70%台というのを見て少し不安になりました。就職希望者はほぼ 100%に近いのに求人も増えたと書いてありましたが、就職率が今一つな理由は何でしょうか?

(回答) 年 2 回発行される学報には、11 月と 3 月時点の就職状況を掲載しております。ご質問の数字は 11 月のものです。公立幼稚園教諭・保育士の採用試験の結果は、12 月上旬に出るため含まれておりません。公立の結果を待って他の幼稚園・保育園への就職活動を始めるケースもあります。また児童養護施設などは、採用試験の時期が遅い場合があり、学生は、あえて自分の希望する就職先の求人を待って活動を行っています。3 月の卒業時には、ほぼ 100%の就職率となっております。

## 【リハビリテーション学部】

## ●理学療法学科

# 1) 授業 (講義・演習)

- (質問) バイトなどでグループワークに参加できないメンバーがいるために、参加しているメンバーへの負担が大きくなっているので配慮してほしい。また、成人式などのイベントの時期にはグループワークの課題を増やさないように調整してほしい。
- (回答) 理学療法学科では、学生の皆さんが能動的に学修を進めていくことができるような取り組みをしています。その中でもグループワークは大変重要な学修形態となっています。そのためには、グループワークに参加していない学生にはグループワークに参加するように指導し、グループワークでの負担の偏りを解消する必要があります。理学療法学科では、各セメスターのガイダンス、アドバイザー懇談で、学生全員に学科としての教育方針、教育実践計画としてのグループワークについて周知し、学生が相互に協力して学修することの共通認識を高め、意識を高めて学修に臨むように指導していきます。

成人式は学生にとって大切なイベントであります。理学療法学科では、冬休み前に課題を出すなど 早めにグループワークが進められるように配慮いたします。

- (質問) 授業で筋肉の説明でモデルになったとき、過剰に身体を触られた感じがすると聞きました。女子学生にはちょっときついかなと思います。
- (回答) 理学療法士にとっての触診技術は、正確な検査測定、適切な治療とその効果を確認するために重要な技術でありますが、触診される者への配慮も必要とされます。理学療法学科では、特に女子学生に対して十分配慮しながら演習時等の指導を行います。

#### 2) 臨床実習

- (質問) 臨床実習の課題が多く、睡眠不足のまま病院に通っており、事故や体調面が心配でした。臨床実習 の指導体制の変更と学生へのサポートをお願いします。
- (回答) 理学療法学科では、過剰な課題を軽減し、より実践的に臨床を学べる臨床実習に取り組めるよう、 臨床実習指導者会議を通じて、実習施設に対し、課題や体調管理への配慮をお願いしています。今後 も学内の実習担当教員を配置し、より有意義な臨床実習になるよう、実習施設との連携を強化してい きます。

# 3) 国試対策

- (質問) 公務員試験を考えている学生へのレクチャーをもう少し丁寧にしていただけたらと思います。実習 と試験が重なると聞いていますが、前もって何をどのように準備していけばよいのか教えていただけ たらと思います。3年次に公務員講座を受けておいた方がよいのでしょうか。
- (回答) 理学療法学科では、国家試験対策として、公務員試験を考えている学生には、早めに国家試験の勉強を行うように指導しています。また、学生に対する就職支援も丁寧に支援するように心掛けています。公務員試験対策は、3年次に就職対策委員から学生全員に伝え、公務員試験を考えている学生は就職センターの講座を受けています。また、4年生の臨床実習の期間中に就職試験がある場合は、臨床実習先に連絡して配慮してもらえるようにお願いし、期間中にも試験対策指導を行い、学生に不利益が起こらないようにしています。今後も、就職支援活動について、保護者の皆さまに丁寧に説明するよう心掛けるようにいたします。

#### 4) 教員

- (質問) 勉強の内容もだいぶ難しくなってきて、本人も焦り始めているようです。どうか根気よく指導をお願いしたい。
- (回答) 理学療法学科は、各学年にアドバイザー2人配置し、学生指導を行っています。また、各学年の学生をグループに分け、教員1人が指導する1年生から4年生のゼミとしてまとめ、学修支援を行っています。このように、理学療法学科では、学生を縦と横のグループに分け、学生指導と学修支援を行っています。学科の会議では、学生の学生生活、学修状況などを確認し、適宜、丁寧に指導するようにしています。また、保護者の皆さまとの情報共有を図り、家族からの支援していただくこともあり、しっかり支援できる体制づくりを心掛けております。

理学療法学科では、学生が理学療法士をより好きになり、理学療法士になるために、積極的かつ能動的に学修する教育を目指しております。保護者の皆さまも、大学での生活や学修の話をよく聞いて、ご支援くださいますようお願いいたします。

## ●作業療法学科

## 1) 授業(講義・演習)

(質問) レポートが多すぎて間に合わない様子が伺える。他学科と比べて多い印象がある。

レポートに対する正解 (フィードバック) が不十分で、何を学んでいるのか分かっていない印象を受ける。評価のやり方やレポートの書き方など、技術面での指導 (練習) が出来ておらず、3 年の実習に向けて不安がある様子。

(回答) 作業療法学科では、1年次より問題基盤型学習 (PBL: Problem Based Learning) という方法を取り入れております。その過程では、単なる知識の獲得だけでなく論理的な思考力という質的な成果も得ることを狙いとしております。ここで培われた力は、3年次以降の臨床実習や作業療法士として臨床現場に出た時に必要とされる能力に直結します。質的な成果はレポート上に表現することで、さらに強化され確実なものとなりますので、自然にレポートを作成する機会が多くなりますが、ご指摘の通り、フィードバックが十分でないと成果を実感することができず、「何を学んでいるのか分からない」という印象につながりかねません。それを防ぐために、例えば1年次の作業療法概論Iでは、提出されたレポートの内容に対して、担当教員が個別面接形式にて、上手く書けている点と今後の努力目標についてコメントをし、漏れのない指導を心がけております。また2~3年次には、当時者の方に模擬患者として来学頂き、身体機能に関する技術評価を実践に近い形で実施する授業を展開しております。

相対的にレポート作成の機会が多いと、技術面の学びが伝わりにくい面があり、ご質問のような印象を持たれたことと思いますが、これからも量的・質的成果のバランスを常に考慮しながら、さらに充実した授業内容を検討していきたいと考えます。

#### 2) 臨床実習

(質問) 実習中の内容、どのように学んでいるのか、生活、健康管理について心配である。 実習が始まって少し経ってから、相談などができる場を作ってもらいたい。

(回答) 作業療法の臨床実習はマンツーマンの指導が基本となります。臨床実習を依頼する際には、大学および学生の出身地になるべく近い施設に対して交渉をしておりますが、豊富な指導経験を有する作業療法士が所属する施設数には限りがあり、受け入れ先が遠隔地になることもございます。遠方の実習地になるとご心配なこともあるかと思われますが、実習期間中は担当教員が常にメールや電話により、遂行状況や健康状態について把握し、細やかにサポートしております。また実習期間の半ば頃には、直接実習施設に訪問して、本人および臨床実習指導者と面談する機会を設けております。このように、大学と実習施設との協力体制で臨床実習は実施されておりますので、どうぞご安心ください。

## 3) 教員

(質問) 同じ教科にも関わらず、クラスの担当教員によって、対応や評価が著しく違うので成績にも影響が 出る。どの子供に対しても平等に接して欲しい。

(回答) ご指摘頂きました通り、科目によっては複数の教員で担当する場合があり、教員間の内容調整が不十分ですと評価の寛厳度等のバラつきが生じかねません。このようなことがないように、開講前に授業や課題の内容、到達目標等を打ち合わせしておりますが、不十分な科目があったかもしれません。今一度、教員間でこの過程をチェックし、学生さん1人1人の個性に応じた丁寧な指導を徹底して参ります。

#### 4) 国試対策

(質問) 国家試験対策のひとつとして、入学時から4年までつながる方法を検討して欲しい。

(回答) ご意見ありがとうございました。作業療法学科としても、1~2年次に学ぶ専門基礎科目で学んだ 内容を、いかに定着させるかが課題であると捉えております。その対策の1つとして、現在、低学年 から知識の積み上げと学習習慣の確立が出来ることを目的とした「学習支援リーフレット」を作成し ております。このリーフレットを学生さん自身が活用し、教員が学びの伴走者となることで、効率的 に学修を促進することを目指しております。

現在も作業療法学科における国家試験対策は、1年次から少しずつ実施しておりますが、上記の リーフレットを通して、より効率的で確実な実力アップをはかり、本格的な対策が始まる3年次に結 びつくように、しっかりと取り組んでゆく所存であります。

#### ●言語聴覚学科

## 1) 授業 (講義・演習)

- (質問) 専門的な授業が増えて学習内容も高度になってきましたので、本人のやる気に任せた自宅学習のみではなく、授業ごとに課題を出して、達成度を確認して、着実に学修できるようにしてほしいと思います。
- (回答) 高等学校までの教育では、教師が設定した課題の学習が主となりますが、大学の教育では、主体的な学修活動が重視されます。主体的な学びによって、高度な専門知識だけでなく、臨床現場で必要とされる、複眼的な視点と論理的な思考力、さらには、理論に基づいて実行する力が養われると考えております。そこで、本学では、自らが課題を見出し計画的に学んでいけるように、アドバイザーが中心となって、助言や指導を実施しております。

その上で、授業ごとに事前事後の学修課題を呈示して内容の理解を進め、小テスト等によって到達度 を確認しております。

ご家庭におきましても、学修状況につきまして適時ご確認いただく等、ご支援をお願い申し上げます。

#### 2) 臨床実習

- (質問) いろいろな地方に実習に行くのも良いと思うが、可能であれば就職希望地域を学生から聞いて、希望の地域の実習地を紹介してもらうのが良いと思います。
- (回答) 臨床実習先は、個々の希望(興味領域、就職希望など)を確認した上で、臨床実習をお引き受け頂く施設の状況や指導者の指導方法、実習内容を鑑み決めております。特に3年次から4年次の一連の臨床実習を通して臨床的な学びが積み重なり、学修が深まっていくような実習になるよう組んでいます。さらに多領域にわたる臨床を実習で経験することは、将来を考える上でも重要な機会と考えます。そのため1つの領域や地域に偏らずに、様々な臨床を経験できるようにもしています。3回の臨床実習の全てで希望どおりの施設を紹介することは難しいですが、いずれかの臨床実習で希望する地域や領域での実習、もしくは自宅や実家等から通える実習となるよう調整をしています。

実習先を検討する時期の兼ね合いで、3年次の秋セメスターで臨床実習の希望を確認していますが、この時期はまだ自身の興味や就職希望が不明確な学生も多く見受けられます。できるだけ実りある実習となるよう、可能な範囲で個々の希望を細かく確認するようにしていきたいと思います。

# 3) 国試対策

- (質問) 前年度国家試験の合格率が低かったと聞きました。早期から対策を行うなど、合格率を高める指導をお願いしたいです。また、万一不合格だった場合の対応をお聞かせください。
- 2015 年度は、3 月末から国家試験対策を開始いたしました。過去 17 回の国家試験問題を全員に配 (回答) 布、国家試験対策オリエンテーションを合計 4 回実施、学内模擬試験を 15 回実施(内 9 回は本学オリ ジナル問題)、国家試験対策講義、国家試験対策グループ学習、小テストの実施、模擬試験結果の分 析による学習アドバイス等、皆が一体となった対策を実施した結果、合格率 90%の結果を得ました。 合格者数も 27 名と単年度で開学以来最大の合格者数でした。しかし、2015 年度 3 名が不合格となっ ております。この点をしっかり振り返った上で、次年度は不合格者 3 名も含めて受験者全員が無事合 格できるよう全教員で対策に当たりたいと思います。国家試験は 4 年間の総合的内容が出題されます ので、最終年だけの対策では限界があります。4年間の学習がしっかり積み重なるように、教務委員 会と共同して学習支援ツールを作成いたしました。2016年度から使用して、4年間の学習の積み重ね を図りたいと思います。各ご家庭でも低学年からの学習の積み重ねに対するご支援をよろしくお願い 申し上げます。国家試験不合格者への対応につきましては、これまで明確に文書化しておりませんで した。2015 年度にリハビリテーション学部国家試験対策委員会で、不合格者への対応について検討し 文書化しましたので、その内容に沿って対応を進めて参ります。既卒生についても、国家試験受験希 望者には本学科が行う国家試験対策を提供しています。しかし、本年度の合格率は低値でした。この 点を振り返って、受験者全員が合格できるように決め細やかな対策を行って参ります。

## 4) 教員

- (質問) 大学生なので学生に勉強について指導するのは当たり前だと思いますが、教員から保護者面談の要請があるのには驚きました。留年するとか退学するようなことがあれば知らせてくれるだけで良いと思います。
- (回答) 4年次に国家試験の受験資格を得るためには1年次から多くの科目を履修することになり、広範囲の学修が必要となります。中には再試験となる学生もおります。そのような学生には、アドバイザーが個別指導をして学習支援をしております。ただ、大学での学習支援だけでは不足することもありま

すので、生活支援を含めてご家庭でのご協力もお願いすることもあります。また、ご家庭への成績が年に1回しかありませんので、達成度が低い学生の保護者の方には、半年ごとにお知らせしております。志を持って入学した学生ですので、留年や退学することにならないよう事前に対応することを心掛けております。

#### 5) その他

(質問) 今年度は教員の入れ替わりがあり、戸惑いを覚えましたが、その後の状況はいかがでしょうか。

(回答) 昨年度、言語聴覚学科では4名の教員の異動(1名定年退職、3名他大学等異動)があり、学生並びに保護者の皆さんにはご心配をお掛けしましたこと、心よりお詫び申し上げます。今年度は新たに本学の教育理念に基づき、また臨床および教育研究歴を有する6名の教員を迎え、教授4名、准教授3名、助教3名計10名の教員体制で教育・学生指導・学科運営等を行ってきました。この1年を振り返りますと、年度始めの頃は教員・学生の双方に戸惑いもあったように思いますが、学生一教員間の意思疎通・コミュニケーションが進展し、大きな混乱もなく順調に教育指導、学科運営がなされたと評価しています。4年生(今年度卒業生)の国家試験の結果も、昨年度の成績を大きく上回り改善いたしました(合格率90%)。これからも教員が一丸となって、本学の教育理念である「隣人愛の精神」を尊重し、学生との尊敬と信頼関係を大切にして、また言語聴覚士として人間性を高めることができるよう、時には厳しく熱意をもって教育指導を行っていきます。引き続きのご支援をお願いいたします。

# (2) 就職支援

- (質問) ・就職活動を来年に控え、満足していないのではなく、非常に不安に感じています。特に親しい先生 もいないそうで、情報が入ってこないのではと心配していました。
  - 本学の就職に対する考えを、もう少し詳しく知る為の方法はないでしょうか?
- (回答) 3・4 年次の学生には 4 月のガイダンス時に「就職ガイドブック」を配布し、就職活動の全体像、大学の支援プログラム、履歴書の書き方、採用試験対策など、個々の事例も出しながら説明しています。公務員対策講座を希望する学生に対しては、夏と春に講座を開催しています。就職支援プログラムについては、大学報、大学ホームページ内の就職センターホームページ、WEBキャリア支援センターにて一部を掲載していますのでご覧ください。また「就職ガイドブック」抜粋版を同封しましたので、ご覧ください。

採用試験の時期は、職種により異なります。看護師は 4 月から始まっていますし、リハビリテーション職は 8 月から本格化しております。福祉職は施設規模や領域によって異なり、4 月に始まり、遅いところは 2 月と長期間にわたって採用試験が実施されています。保育士・幼稚園教諭は 5 月から採用試験が始まります。希望する職種、施設規模によって異なりますが、多くの求人をいただいております。学生は「自分が保健医療福祉の専門職としてどんな病院・福祉施設分野・領域で働きたいのか」を考え就職先を選択・決定しています。学生の就職活動を、温かくお見守りくださいますようお願いいたします。

就職に関することでご不明なこと等は、学部の就職委員の教員、就職センターにお電話やメールでお問い合わせください。

# (3) 国際交流

(質問) 海外研修に関する情報が少ないです。子供からあまり情報が入ってきません。

(回答) 本学は、シンガポールのナンヤン理工学院(NYP)、中国重慶市の第三軍医大学(TMMU)、米国カリフォルニア州のサミュエルメリット大学(SMU)と交流協定を締結し、以下の海外研修・海外実習を実施しています。

1.3 学部共通の海外研修

「シンガポール研修 (NYP)」、「中国研修 (TMMU)」

2. 学部ごとの海外研修・海外実習

看護学部 「アメリカ看護研修(SMU)」、「国際看護実習(NYP)」

\_\_\_\_\_ リハビリテーション学部 「アメリカ言語聴覚研修(ハワイ大学マノア校)」、

「国際作業療法実習(NYP)」

# 社会福祉学部

「国際福祉実習」

3. その他

\_\_\_\_\_ 個人で海外の研修プログラムに参加したい場合、全学生を対象とした「海外英語研修」

大学主催の海外研修・海外実習では、渡航前に学内で複数回の事前研修を行っています。英語でのロールプレイ学修を始め、対象国の保健医療福祉制度、現状や課題等についての比較研究を行い、十分に問題意識を持ったうえで現地での研修に臨み、学修効果の向上を図っています。

内容や選考基準等については、国際交流センターホームページ上で募集要項に掲載いたします。

- (質問) 大学で行っている国際交流活動ですが、具体的に何をやっているのかあまりよく分かりません。 もっと情報が欲しいです。
- (回答) 本学では交流締結校との相互交流を中心として積極的に国際交流活動を行っておりますが、今後以下の通り広く広報活動を展開していく予定です。
  - 1. 国際交流センターホームページ及び国際交流センターブログの充実

国際交流センターホームページ及び国際交流センターブログに、随時、交流協定校や海外研修・海外実習(受入れ・派遣)の情報を魅力的な動画・写真や参加者の体験談と共に紹介して行きます。

なお、2016 年度より大学ホームページの英語版が開設されました。今後コンテンツを充実させ、広 く海外にも情報発信をして行きます。

2. 国際交流パンフレットの作成と配布

海外研修・海外実習を中心に、本学の国際交流活動について詳しく紹介したパンフレットを 2016 年度よりリニューアルいたします。学内向けに新入生オリエンテーションガイダンス、海外研修説明 会や保護者懇談会時に配布する予定です。

- (質問) ①国際交流活動参加を希望しておりましたが、募集人数が少ない様で、参加できませんでした。も う少し広い門にして頂けないでしょうか。せっかくの大学 4 年間、残念でなりません。本人はか なりショックを受けていました。
  - ②大学時代に一度は国際交流をさせたいと思っていましたが、もっと気軽なものはないのでしょうか?
  - ③医療制度のグローバル化を考えた時、学内で大勢が学べる環境も整うと良いと思います。外国人 講師や外国で従事してきた方の講義・講演など。
- (回答) 海外研修・海外実習を希望する全ての学生に参加して欲しいものの、各プログラムの定員は決まっており、選考せざるを得ないのが現状です。再度チャレンジをして頂ければと思います。また、大学では以下の国際交流プログラムを用意しておりますので、国際交流に興味のある学生は積極的に参加して、異文化交流を深めて頂きたいと思っています。

# 1. 国際交流イベントへの参加

2016 年度より、全学生に開かれた英語で交流できる機会を設ける予定です。国際交流活動に関心はあるものの、なかなか一歩を踏み出せない学生が気軽に参加し、楽しみながら実際に英語を用い、国際交流の楽しさを感じてもらう目的です。具体的な内容に関してはまだ計画中ですが、年 4 回程度、外国人講師を招いて海外の料理をつくり試食会を行う料理教室の開催や海外のフェスティバルにちなんだイベントを実施、その国の文化に触れ、英語でのコミュニケーションを促すイベントを実施して行きます。また、JICA 等の国際協力団体等で活躍する方や海外で活躍する卒業生を講師に招いて講演を開催するなど、学生の将来の進路決定に参考になるようなイベントも含む予定です。

2. 交流協定校からの研修生受入れ時の歓迎会・交流会・各種プログラムへの参加

本学では毎年、交流協定校からの研修生を受入れています。6月には SMU より看護学生、9月には NYPより看護実習生、10月には NYPより作業療法実習生、2017年3月には NYPより研修生が来学する予定です。その際に学内で開催される歓迎会・交流会・各種プログラムへの積極的に参加して頂き、同じ専門職を志す外国の学生達と交流を深めて頂きたいと思います。

# 3. 英会話サークルへの参加

2016 年度より、英会話を中心に活動するサークルを、ネイティブを含む英語教員が顧問となり活動をして行く予定です。積極的に参加し、他学部や上下の学年の学生との交流を深めて頂きたいと思います。

# (4) 学生生活

#### 【大学周辺環境】

- (質問) ・離れた駐車場までの道が暗いところがあるため、対応をお願いしたい。
  - ・学校周辺がとても暗いです。外灯を増やしていただいているようですが、女の子が多い大学なのでもう少し対策をしていただけたらと思います。
  - ・大学の周辺ですが、とても暗く(特に冬)防犯が心配です。事故がないよう、お願いします。
  - ・通学路が市道等であるため、学校では対応しきれないと思われますが、夜間の通学路が大変暗いように思いました。防犯上等、今後、市に要望してほしいと思います。
- (回答) 後援会および周辺自治体の協力を得て、毎年、キャンパス周辺に外灯を増設しています。2015 年 4 月、大学から第三駐車場に向かう川沿いの道路の 4 カ所に LED の 外灯を設置しましたが、まだ暗いとの声も寄せられています。今後も状況を見ながら可能な限り周辺自治会に働きかけをしていく予定です。いただいたご意見を参考にさせていただき、これからも安心して通学・帰宅ができる環境を整えていきます。

また、前述のような安全な環境づくりへの取り組みとともに、自主学習や実習等で帰宅が遅くなった学生に対して、暗い道は複数人で歩くことやなるべく明るい道を選ぶなど防犯意識を促しながら、安全に帰宅するよう声をかけるよう日々配慮いたします。

#### 【通学関係】

- (質問) ・大学専用のスクールバスを導入してほしい。
  - ・浜松駅よりバス通学をしていますが、朝の通勤ラッシュ時間は混み合い、数本見送ってからの乗車 で通学時間がかかります。スクールバス運行をよろしくお願いします。
  - スクールバスの本数がもっと増えるといいのにと思いました。
- (回答) 学生および保護者の皆様の要望により、後援会の協力を得て、2016 年 4 月から本学大学生・専門学校生専用のスクールバスの運行を開始しました。授業のある月曜日〜金曜日は 3 往復、授業のある土曜日は 1 往復、浜松駅と大学間を運行しています。観光バスタイプの大型車両を 2 台導入し、全員が座って乗車できるよう座席は指定制としています。

朝は浜松駅より、①7:15、②7:25、③9:20 には発車し、帰りは、①16:20、②18:20、③18:35 に大学より発車しています。6月1日現在、91名の学生が利用しています。現在スクールバスの座席に余裕がありますので、スクールバスの利用を希望される方は学生サービスセンター(窓口/053-436-1125/service@seirei.ac.jp)までお問い合わせください。

#### 【食堂・売店の充実】

- (質問) ・食堂がせまいので、もう少しスペースが確保できるといいと思います。
  - ・学食が混んでいて座れないことが多い。
- (回答) 2013 年 4 月に 2 号館 2 階の学生ホールおよび 5 号館 2 階の学生ラウンジの新設をしたことにより昼食時の混雑は以前よりは緩和されておりました。以来、リハビリテーション学部理学療法学科の定員増および介護福祉専門学校の開設をした 2016 年度も学生総数としてはほとんど増加しておりませんが、食堂および昼食を食べるスペースの拡張を希望する声は高まっており、座席数の増設について検討を進めています。まずは 2016 年 6 月に 2 号館 2 階の学生ホールに 28 席の増席を予定しています。今後も継続して使用しやすい環境つくりに努めます。

また、学生さんから「学食が混雑する」という声が寄せられていますので、学生さんに向けて、混雑する時間帯をお知らせし、昼食時間をずらしてもらったり、食べ終わった後早めに席を譲るなど混雑緩和に協力してもらえるよう呼びかけていきます。

- (質問) ・学食の充実をして欲しい (メニュー・営業時間・価格・味・量)。
  - ・売店の品ぞろえを充実させて欲しい。
- (回答) 本学の食堂・売店運営は、大学側と業務委託契約を締結している食堂運営業者との定期的な話し合いのもと、食堂運営を行っています。

現在、定食2種類(ランチ A・ランチ B)、カレー・カツカレー、日替り麺、かけうどん・そば、麺セット、ミニ丼、アラカルト等、毎日10種類を提供しています。アラカルトは、日替りでグラタン、パスタ、丼物、チキンバーガー、学生考案メニューのセレクトん汁セット・韓国グルメセット・ヘルシーセットも販売しています。また、スナック類として、から揚げ・ポテト・コロッケ・春巻・ハッシュドポテト・シューアイス・クレープの他に「ドーナツ」の販売を2015年10月より開始し、

大変人気があります。スペシャルランチは、月に一度企画しています。毎週水曜日のランチ A は、「カラダよろこぶメニュー」としてカロリー650kcal 以下・塩分 2g台・野菜海藻たっぷりのメニューを提供しています。また、2016年4月からは、毎週水曜日に「ハヤシライス」の販売も始めました。今後は、日替りメニューの他に定番メニューも提供できるよう検討していきたいと思います。今後もお寄せいただいた意見をもとにできる限りご要望に沿えるよう、また学生の皆さんの健康に配慮し、楽しく美味しい食事の提供ができるよう食堂運営業者と大学側で話し合いを継続して実施していきます。なお、食堂・売店への要望等については、学生ホール内の"ご意見箱"に投書いただければ、食堂運営業者に直接声が届くことも併せてお知らせいたします。

#### 【図書館関係】

(質問) 開館日、利用時間をもっと延長してほしい。

(回答) 図書館の開館時間は、平日(月~金曜日)は8時30分から21時まで、土曜日は9時から18時までです。夜は早めに安全に帰宅してもらうことを優先しており、21時閉館は、学部生に対して安全に配慮しながら学習時間を確保するぎりぎりの時間だと考えます。大学としては、より多くの学生さんが利用する時間帯の中で、司書や図書館サポーターによる図書検索指導、レファレンスなどのサービス向上に力を入れていく考えです。2016年度には、メディカルオンライン(医学・医療関連の情報を幅広く検索できるサイト)のリモートアクセスが可能になり、実習先や自宅等からでも利用できるようになりましたので、活用してほしいと思います。

この報告書についてのご意見、お問い合わせは下記までお寄せください。 聖隷クリストファー大学 後援会

〒433-8558 静岡県浜松市北区三方原町 3453

電話 053-439-1400 FAX 053-439-1406